

令和3年度

事務事業評価表 (令和2年度の実績評価)

記入年月日
令和3年4月1日

事務事業名	林道清掃管理業務委託事業						事業区分	新規/継続 単独/補助		単独		事務事業No.	040105000798
政策体系上の位置付け													
政策体系	総合計画の施策名		0401 農林業の振興										
	政策名		04 活力ある産業のまちづくり										
	施策名		01 農林業の振興										
	手段名		05 ⑥森林(里山)の保全と魅力づくり										
財務会計上の位置付け													
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計						
法令根拠	01	06	02	03	01	00	林道整備事業						
							事業期間						
							単年度繰返し (年度~)						
							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入						

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>市内21路線の林道について除草作業の設計・委託を行い、通行者の安全及び交通事故の軽減を図る。</p> <p>○岩瀬地内(11路線) 14,357m×2m=28,714㎡ ○大和地内(2路線) 4,986m×2m=9,972㎡ ○真壁地内(7路線) 17,945m×2m=35,890㎡ ○筑波稜線(1路線) 11,891m×2m=23,782㎡ 合計 21路線 総延長49,179m 除草面積 98,358㎡</p> <p>※久原・富谷線は森林公園等清掃管理業務委託事業で施行。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・除草作業の設計、発注 ・除草作業の管理及び指導監督

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> ・除草作業の設計、発注 ・除草作業の管理及び指導監督 	林道路線数	路線	21.00	21.00	21.00	21.00	21.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
市内林道	総延長	m	49,179.00	49,179.00	49,179.00	49,179.00	49,179.00
	除草面積	㎡	98,358.00	98,358.00	98,358.00	98,358.00	98,358.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
林道通行者の安全確保	林道での事故件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(計画)	期間限定総投入量
財源	県支出金 千円	0	0	0	0
内訳	地方債 千円	0	0	0	0
	使用料・手数料 千円	0	0	0	0
	その他 千円	0	0	0	0
	一般財源 千円	6,089	5,775	6,127	0
	事業費計(A) 千円	6,089	5,775	6,127	0
	正規職員従事人数 人	1.00人	1.00人	1.00人	

事業費の内訳	02年度事業費実績(千円)				03年度事業費予算(千円)			
	12 委託料	5,775			12 委託料	6,127		
	合計	5,775			合計	6,127		

事務事業名	林道清掃管理業務委託事業	事務事業No.	40105000798	所属課	農林課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 林道の認定路線に関しては、市道と同様に担当課での維持管理が必要とされる。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 事故防止や安全確保をしてほしいとの要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 除草作業を行い、林道の維持管理を行うことで通行者の安全確保が図られる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 通行者の安全を確保するため、市で林道の維持管理を行うことは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 除草回数を増やすことで、より安全は保たれるが、財源が厳しく現状では難しい。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 林道が荒廃し、通行者の安全が確保されなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はなく統廃合は難しい。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 林道全路線が対象であり、事業費も委託費のみで削減は出来ない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市道同様、林道利用者も特定できず、誰もが利用可能であり公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	事業内容は除草や側溝清掃であり、利用者が安全に通行できるように管理をしていく。また、作業施工者と連携をとり、台風時期等の林道内巡回を行い、安全管理に努めている。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持		○	×																
	低下	×	×	×																
		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果	⑧																	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>